

遺物観察表

押図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			長さ	幅	厚さ	重量		
122-18 PL43	石製品 石皿	+10	13.5	6.4	4.0	479	緑色片岩	皿部を除き、割れ口と自然石面。磨耗は非金属。割れ口少消耗。

73号住居遺物観察表

押図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴			
						123-1 PL43	土師器 坏	+4 口-底部1/5
123-2 PL43	土師器 坏	+3 口-底部4/5	口-10.6 底-丸底 高-2.9	①細砂 ②酸化焰 ③明褐7.5YR5/6	底部から体部は丸みをもち、口縁部はやや外反する。体部に稜をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ。			
123-3 PL43	土師器 坏	+13 口-底部1/4	口-10.4 底-丸底 高-3.6	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③いよい粉2.5YR6/4	底部から体部はゆるい丸みをもち、口縁部は直立する。体部にゆるい稜をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下横方向のへら削り。内面 口縁部横ナデ、体部に指頭圧痕残る。			
123-4 PL43	土師器 坏	竈 口-底部1/4	口-(10.3) 底-丸底 高-3.2	①細砂 ②酸化焰 ③赤橙10R5/6	底部から体部は丸みをもち、口縁部は直立する。体部に強い稜をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下横方向のへら削り。内面 口縁部横ナデ、体部に指頭圧痕残る。			
123-5 PL43	土師器 坏	床直 口-体部1/5	口-(11.7) 底- 高-(3.9)	①細砂、輝石 ②酸化焰 硬質 ③明褐7.5YR5/6	体部に稜をもち、口縁部は短く直立する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下丁寧ナデ。			
123-6 PL43	土師器 土(灯明皿)	+5 口-底部3/4	口-11.2 底-丸底 高-3.2	①細砂、輝石 ②酸化焰 硬質 ③明赤褐5YR5/6	底部から体部は丸みをもち口縁部は短く内湾する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面に彫り着。灯明皿として使用。			
123-7 PL43	須恵器 坏	+5 口-底部2/5	口-9.8 底-(4.4) 高-(3.0)	①緻密、黒色鉱物 ②還元焰 ③灰10Y4/1	体部は丸みを帯びて立ち上がり、口縁部はやや外反する。右回転轆轤成形。底部は手持ちへら削り。			
123-8 PL43	須恵器 碗	覆土 口-底部1/4	口- 底-8.2 高-4.4	①緻密 ②還元焰 硬質 ③灰5Y4/1	体部はゆるい丸みをもち、立ち上がり。高台は内外面とも外傾する。付高台。内外面に自然釉付着。			
123-9 PL43	灰輪陶器 碗	+6 底部片	口- 底-(8.2) 高-(2.3)	①緻密、黒色鉱物 ②還元焰 硬質 ③灰黄2.5Y7/2	高台は三ヶ月型を呈す。付高台。 施軸方法は横け掛け。軸輪は灰色。大塚2号窯式期。			
124-10 PL43	須恵器 壺	+4 鎌-口縁部 1/4	口-(11.0) 鎌-1.1 高-2.5	①緻密、黒色鉱物 ②還元焰 ③灰N6/	紐は小瘤状を呈し、天井部は丸みを帯び、内面には見受けのオカリをもつ。外面端部回転へら削り。			
134-11 PL43	須恵器 壺	覆土 天井-口縁部 1/5	口-(11.2) 鎌- 高-(1.6)	①緻密、黒色鉱物 ②還元焰 ③灰5Y6/1	紐は矢根。天井部は緩やかな丸みを帯び、内面には見受けのオカリをもつ。外面は自然釉がかかる。			
124-12 PL43	土師器 羹	+6 口縁部片	口-18.0 底- 高-(5.5)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③洗灰橙7.5YR8/4	口縁部はやや外反する。口縁部は内外面横ナデ。			
押図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
長さ	幅	厚さ	重量					
124-13 PL43	石製品 磨石	+14	8.3	7.1	3.5	398	閃緑岩	硬質石材で、点捺部が磨耗部で炭素付着。磨耗は金属を強く。割れ口シャープ。

73号住居こも羅み石計測表

押図番号 図版番号	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				石材	押図番号 図版番号	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				石材
		長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量	
123-14 PL43	床直 完形	14.1	6.7	3.7	530	石英閃緑岩	123-15 PL43	+11 完形	13.3	5.5	4.1	539	砂岩
123-16 PL43	+13 完形	10.4	4.2	3.7	102	石英閃緑岩	123-17 PL43	+14 完形	11.5	6.0	3.8	406	砂岩

75号住居遺物観察表

拝因番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
126-1 PL44	須恵器 有台杯	+9 口-底部1/3	口-(16.4) 底-(13.0) 高-4.0	①細砂、小礫 ②還元焰 ③灰黄2.5Y7/2	直線的に立ち上がる。付高台。高台は断面四角形を呈す。 右回転轆轤成形。底部は回転へら削り。
126-2 PL44	土師器 甗	床直・甗 口-底部1/4	口-25.8 底-(9.0) 高-25.6	①粗砂 ②還元焰 ③にぶい黄橙10YR7/2	口縁部は外反し、胴部は丸みを帯びながらすぼまる。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら削り。

76号住居遺物観察表

拝因番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
128-1 PL44	土師器 坏	覆土 口-底部1/4	口-(13.4) 底- 高-(5.1)	①細砂、礫石 ②還元焰 ③にぶい赤黒5YR5/4	底部から体部は丸みをもち、口縁部は内斜する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
128-2 PL44	土師器 坏	貯蔵穴 口縁部片	口-11.0 底- 高-(4.7)	①細砂、礫石 ②還元焰 硬質 ③明赤黒5YR5/8	体部は球状にふくらみ、口縁部は内斜する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
128-3 PL44	土師器 坏	+15 口-底部1/2	口-13.6 底-丸底 高-7.3	①細砂 ②還元焰 ③明赤黒2.5YR5/8	底部から体部は丸くふくらみ、口縁部は内斜する。 外面 口縁部横ナデ、以下は横方向へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
128-4 PL44	土師器 鉢	+15 口-体部3/4	口-16.5 底- 高-(8.5)	①細砂 ②還元焰 ③にぶい赤黒5YR4/3	体部は丸くふくらみ、口縁部は内斜する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。底部へら削り。 内面 口縁部横ナデ、体部へらナデ。
128-5 PL44	土師器 高坏	覆土 坏部1/3	口-16.0 底- 高-(5.2)	①細砂 ②還元焰 ③橙5YR6/6	坏底部に後をもち、口縁部は外反する。 内外面とも丁寧なナデが施されている。
128-6 PL44	土師器 高坏	床直 坏部1/3	口-26.0 底- 高-(8.7)	①細砂、小礫 ②還元焰 ③橙5YR6/8	坏底部に後をもち、そこから大きく外反する。 外面 口縁部と坏底部は横ナデ。坏中央部へら磨き。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。
128-7 PL44	土師器 甗	覆土 口縁部片	口-(19.4) 底- 高-(6.0)	①粗砂 ②還元焰 ③にぶい黄橙10YR7/3	口縁部は外反し、胴部は丸くふくらむ。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら削り。
128-8 PL44	土師器 甗	覆土 胴-底部片	口- 底-(8.0) 高-(9.8)	①粗砂、礫石 ②還元焰 ③にぶい黄7.5YR5/3	底部から丸みを帯びて、のびる胴部。 外面 へら削り。 内面 底部へら削り、胴部へらナデ。

77号住居遺物観察表

拝因番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
129-1 PL44	土師器 坏	貯蔵穴 口-底部1/3	口-12.4 底- 高-(3.6)	①細砂 ②還元焰 ③淡赤黒2.5YR7/4	体部下半に後をもち、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ、底部へら削り。 内面 口縁部横ナデ、指頭圧痕あり。
129-2 PL44	土師器 坏	貯蔵穴 口-底部1/4	口-(13.0) 底-丸底 高-4.5	①細砂 ②還元焰 ③にぶい黄橙10YR6/3	底部から体部は丸みをもち、口縁部は外反する。体部下 半は後をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。

78号住居遺物観察表

拝因番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
131-1 PL44	土師器 坏	+13 口-底部1/2	口-14.0 底-丸底 高-3.0	①細砂 ②還元焰 やや軟質 ③橙5YR6/6	底部は平底気味で、体部は丸みをもち、口縁部は直立気味。 外面 口縁部横ナデ、以下横方向へら削り。 内面 口縁部横ナデ、体部へらナデ。
131-2 PL44	須恵器 坏	床直 ほぼ定形	口-14.0 底-9.4 高-4.1	①細砂、黒色鉱物 ②還元焰 ③灰黄2.5Y6/1	体部から口縁部にゆるい丸みをもつ。 右回転轆轤成形。底部は右回転へら削り。
131-3 PL44	須恵器 甗	覆土 口-底部3/5	口-12.8 底-(6.8) 高-(5.0)	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰黄2.5Y4/1	体部から口縁部はやや丸みをもち立ち上がる。 底部は平底を呈し、回転へら削り。

遺物観察表

79号住居遺物観察表

探出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
134-1 PL44	土師器 坏	覆土 口一底部片	口-(10.8) 底一 高-(3.5)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③橙5YR6/6	体部は丸みを帯びたをもつ。口縁部は短く直立する。口縁部は内外面横ナデ。外面 体部から底部へら削り。
134-2 PL44	土師器 坏	+8 口一底部1/4	口-(19.0) 底一 高-(3.4)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③橙5YR6/6	体部から口縁部にかけて、丸みを帯びながら立ち上がる。外面 口縁部横ナデ、以下横方向へら削り。内面 口縁部横ナデ。
134-3 PL44	土師器 坏	+12 口一底部1/4	口-(20.4) 底一 高-(3.7)	①細砂、輝石 ②酸化焰 硬質 ③明褐色7.5YR5/6	体部から口縁部にかけて丸みを帯びながら立ち上がる。外面 口縁部横ナデ、以下横方向へら削り。内面 口縁部横ナデ。
134-4 PL44	土師器 甗	床直 口縁部片	口-22.0 底一 高-(4.0)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③浅黄褐色10YR6/4	口縁部は大きく外反する。外面 口縁から頸部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁から頸部横ナデ。
134-5 PL44	土師器 甗	覆土 口縁部片	口-(19.0) 底一 高-(7.0)	①細砂 ②酸化焰 ③にぶい橙7.5YR7/4	口縁部は外反し頸部は丸みをもつ。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部横ナデ。

80号住居遺物観察表

探出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
136-1 PL44	土師器 坏	貯蔵穴 完形	口-12.2 底一丸底 高-5.7	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③橙5YR6/8	底部から体部は丸みもち、口縁部はほぼ直立する。体部下半に横をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下横方向へら削り。内面 口縁部全面丁寧ナデ。
136-2 PL44	土師器 坏	貯蔵穴 完形	口-12.2 底一丸底 高-4.5	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③橙5YR6/8	底部から体部は丸みもち、口縁部はほぼ直立する。体部下半に横をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部から体部丁寧ナデ。底部へら削り。
136-3 PL44	土師器 坏	+12・貯蔵穴 口一底部4/5	口-13.1 底一丸底 高-5.4	①細砂 ②酸化焰 ③にぶい橙7.5YR6/4	底部から体部は丸みもち、口縁部はほぼ直立する。体部下半に横をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下横方向へら削り。内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
136-4 PL44	土師器 坏	床直 口一底部3/5	口-(12.0) 底一丸底 高-4.6	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③明赤褐色5YR5/6	底部から体部は丸みもち、口縁部はほぼ直立する。体部下半に横をもつ。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部横ナデ。体部から体部丁寧ナデ。
136-5 PL44	土師器 甗	貯蔵穴 胴部1/2	口一 底-(10.0) 高-(18.0)	①粗砂 ②酸化焰 やや軟質 ③にぶい黄褐色10YR6/4	胴部は丸みを帯びながらすままる。外面 へら削り。内面 へらナデ。

81号住居遺物観察表

探出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
137-1 PL44	土師器 坏	覆土 ほぼ完形	口-13.2 底一丸底 高-5.2	①細砂、輝石 ②酸化焰 硬質 ③明赤褐色5YR5/8	口縁部は内斜し、底部は丸底を呈す。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部横ナデ。体部へら磨き。
137-2 PL44	土師器 坏	床直 口一底部1/4	口-15.0 底一丸底 高-4.6	①細砂、輝石 ②酸化焰 硬質 ③明赤褐色5YR5/6	底部から体部は丸みもち、口縁部は内斜する。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
138-3 PL44	土師器 鉢	床直+4 口一底部1/2	口-(12.4) 底-4.0 高-11.7	①粗砂、白色軽石 ②酸化焰 ③にぶい黄褐色10YR6/4	体部は丸みもち、口縁部は短く外反する。底部は平底を呈す。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部横ナデ。体部上位へらナデ、下位へら磨き。
138-4 PL44	土師器 鉢	+3 口一底部1/6	口-14.2 底-5.2 高-13.4	①細砂 ②酸化焰 ③にぶい黄褐色10YR7/4	体部は丸みもち、口縁部は直立する。外面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
138-5 PL45	土師器 鉢	+6 口一胴部1/4	口-(15.4) 底一 高-(12.5)	①細砂 ②酸化焰 ③明黄褐色10YR6/4	体部は丸みもち、口縁部は短く外反する。外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
138-6 PL45	土師器 甗	床直 口一胴部1/6	口-(19.8) 底一 高-(15.0)	①粗砂 ②酸化焰 ③にぶい黄褐色10YR5/4	胴部はほぼ直線的に立ち上がり、口縁部や外反する。外面 口縁部横ナデ、以下は不定方向へら磨き。内面 口縁部横ナデ、以下は不定方向へら磨き。

82号住居遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)		①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴	
			長さ	幅			
139-1 PL45	須恵器 埴	甕 体-底部片	口- 底-(5.7) 高-(2.7)		①細砂、白色胎土 ②還元焰 ③黄灰2.5Y6/1	体部は直線的に立ち上がる。高台は断面三角形を呈し [ハ]の字状に開く。付高台。底部は右回転糸切り。	
139-2 PL45	須恵器 埴	覆土 底部片	口- 底-(6.4) 高-(1.8)		①細砂、白色胎土 ②還元焰 ③黄灰2.5Y6/1	高台は断面三角形を呈し [ハ] の字状に開く。付高台。 底部は回転糸切り。	
139-3 PL45	土師器 土釜	甕 底部片	口- 底-12.0 高-(2.8)		①粗砂、小礫 ②還元焰 軟質 ③明赤帯5YR5/6	胴下部に指摺直底がみられる。 底部の胎土は砂・小礫が多量に混じる。	
検出番号 図版番号	器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				石材
			長さ	幅	高さ	重量	
139-4 PL45	石製品 支脚石	甕 2/3	16.0	9.5	5.3	1410	粗粒輝石安 山岩

83号住居遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)		①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
			長さ	幅		
140-1 PL45	土師器 坏	+11~+13 口-底部4/5	口-13.4 底-九底 高-5.1		①細砂、輝石 ②還元焰 硬質 ③明赤帯5YR5/8	底部から体部は丸みをもち、口縁部は内斜する。 外面 口縁部は横ナデ、以下横方向のへら削り。 内面 口縁部は横ナデ、以下へら磨き。
140-2 PL45	土師器 坏	+9 口縁部片	口-(13.0) 底- 高-(4.0)		①細砂 ②還元焰 ③明赤帯5YR5/8	体部は丸く、内斜する口縁部。 外面 口縁部は横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部は横ナデ、以下へら磨き。
140-3 PL45	土師器 坏	床直 口-底部2/3	口-13.8 底-九底 高-5.8		①細砂 ②還元焰 ③明赤帯2.5YR6/6	底部から体部は丸みをもち、口縁部は直立する。 外面 口縁部は横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部から体部は丁寧なナデ調整。
140-4 PL45	土師器 高坏	+11 坏部1/5	口-(16.2) 底- 高-(5.5)		①細砂、輝石 ②還元焰 ③燈7.5YR7/6	坏部は稜をもちながら開き、口縁部は直立する。 外面 口縁部は横ナデ、以下へら磨き。 内面 へら磨き。
140-5 PL45	土師器 甕	+10~+13 口-胴部1/3	口-15.5 底- 高-(13.5)		①細砂、黒色胎土 ②還元焰 ③にぶい赤帯5YR5/4	口縁部はやや外反し、胴部は丸くふくらむ。 外面 口縁部は横ナデ、胴部から胴部へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。

84号住居遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)		①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴	
			長さ	幅			
141-1 PL45	須恵器 坏	床直~+3 体部-底部片	口- 底-(5.0) 高-(3.0)		①粗砂、小礫 ②還元焰 ③にぶい帯7.5YR5/4	体部は丸みを帯びて立ち上がる。 底部は右回転糸切り。	
141-2 PL45	須恵器 埴	覆土 底部片	口- 底-(6.5) 高-(2.2)		①細砂、輝石 ②還元焰 ③にぶい帯7.5Y6/4	高台は断面三角形を呈し、[ハ]の字状に開く。 底部は回転糸切り(回転方向不明)。	
検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				特徴
			長さ	幅	高さ	重量	
141-3 PL45	鉄製品 腰刀	床直	14.5	2.0	0.4	53.70	延ばした状態で約13cm。背は山形(庵)様となる刃部の薄さが地方に あるため腰刀残片。両端部折られる。高熱被りで、錆変色あり。刃 部は柄側に、もぎ取られのめくれがあるため、鍛冶の所作の一端か。 錆割れ少なく時代不明。

85号住居遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)		①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
			長さ	幅		
142-1 PL45	須恵器 有台坏	床直 底部1/4	口- 底-(15.2) 高-(1.4)		①細密、黒色胎土 ②還元焰 ③灯6N/	底部は右回転へら削り後、付高台。 高台付近横ナデ。

遺物観察表

86号住居遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
143-1 PL45	土師器 坏	貯蔵穴覆土 □-底部片	□-(12.0) 底-(7.2) 高-(3.4)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③にぶい黄橙10YR7/2	体部は丸みを帯びて立ち上がり、口縁部は外反する。底部は平底を呈す。外面は体部から底部へ削り、口縁部は内外面横ナデ。

1号壑穴状遺構遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
144-1 PL45	土師器 坏	覆土 □-体部片	□-11.0 底- 高-(4.5)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③にぶい橙5YR6/4	体部は丸みを帯び、口縁部は内傾する。外面 口縁部横ナデ、以下へ削り。内面 口縁部横ナデ、以下へ磨き。

2号壑穴状遺構遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				特徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
144-1 PL45	鉄製品 釘	覆土	(5.2)	(0.6)	(0.5)	3.17	頭部整形錆化のため不明。裾割れ気味にクラック入り古代鉄か。曲がり少く使用釘か不明。

2号溝遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
147-1 PL45	須恵器 坏	□-底部2/3	□-12.0 底-5.8 高-3.5	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰5Y6/1	直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。成形時の歪みあり。
147-2 PL45	須恵器 皿	□-底部1/5	□-(9.8) 底-(6.2) 高-2.5	①細砂、輝石 ②還元焰 ③灰白2.5Y8/2	丸みをもち立ち上がり、口縁部は外反する。底部は回転糸切り。
147-3 PL45	須恵器 皿	□-底部4/5	□-(13.2) 底-7.8 高-(2.1)	①細砂、輝石 ②還元焰 ③にぶい黄橙10YR7/4	器壁厚く、体部から口縁部は直線的に開く。右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。高台部はすべて欠損している。
147-4 PL45	灰輪陶器 長頸壺	底部片	□- 底-(10.0) 高-(3.4)	①細砂、黒色紅物 ②還元焰 ③灰白5Y6/1	器壁が厚く、胴部は直線的に立ち上がる。付高台。底部は回転へ削り。底面に「大？」の字の捺刻あり。
147-5 PL45	須恵器 埴	□-底部2/3	□-(12.6) 底-6.3 高-4.9	①細砂、黒色紅物 ②還元焰 ③にぶい黄橙10YR7/3	直線的に立ち上がり、口縁部はやや外反する。付高台。高台は「ハ」の字状に開く。右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
148-6 PL45	須恵器 埴	底部片	□- 底-(11.0) 高-(3.4)	①細砂、黒色紅物 ②還元焰 ③灰白5Y8/1	高台は大きめで「ハ」の字状に開く。底部は右回転糸切り。
148-7 PL45	須恵器 埴	□-底部1/2	□-(15.0) 底-(8.8) 高-7.0	①細砂 ②還元焰 ③橙7.5YR7/6	体部から口縁部にかけて、直線的に立ち上がる。高台は長く「ハ」の字状に開く。付高台。右回転轆轤成形。底部は回転糸切り(回転方向不明)。
148-8 PL45	灰輪陶器 皿	□-底部1/3	□-(12.4) 底-6.4 高-2.6	①細砂、白色軽石 ②還元焰 硬質 ③淡黄5Y8/3	直線的に立ち上がる。付高台。高台は短く「ハ」の字状に開く。施釉方法は漬け掛け。輪調は灰色。大原2号壺式期。
148-9 PL45	灰輪陶器 皿	□-底部1/4	□-(10.6) 底-5.6 高-2.2	①細砂 ②還元焰 硬質 ③灰白7.5Y7/1	やや丸みを帯び立ち上がる。付高台。底部は右回転糸切り。施釉方法は漬け掛け。輪調は灰白色。大原2号壺式期(新)。
148-10 PL45	灰輪陶器 皿	□-底部1/3	□-(13.0) 底-(6.6) 高-2.5	①細砂 ②還元焰 硬質 ③灰白2.5Y7/1	直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。付高台。高台は短く「ハ」の字状に開く。施釉方法は漬け掛け。輪調は灰白色。大原2号壺式期。
148-11 PL45	灰輪陶器 皿	底部のみ	□- 底-6.8 高-(1.5)	①細砂、白色軽石 ②還元焰 硬質 ③灰白N8/	付高台。高台は短く直立する。底部内面に重ね焼き残る。施釉方法は刷毛塗り。輪調は緑灰白。大原2号壺式期。
148-12 PL45	灰輪陶器 埴	□-底部1/8	□-(12.2) 底-(6.8) 高-4.0	①細砂 ②還元焰 硬質 ③灰白5Y7/1	丸みを帯びてたらあがり、口縁部はやや外反する。付高台。高台は三日月形を呈する。施釉方法は刷毛塗りか。輪調は灰白色。壳ヶ丘1号壺式期。

遺物観察表

標記番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
148-13 PL45	灰輪陶器 碗	口～底部4/5	口～15.2 底～7.3 高～4.5	①緻密 ②還元焰 硬質 ③灰白N7/	丸みを帯びて立ち上がる。付高台。高台は「ハ」の字状に開く。施釉方法は漬け掛け。釉調は乳白色。大原2号窯式期。
148-14 PL45	灰輪陶器 碗	底部片	口～ 底～(8.2) 高～(2.8)	①緻密 ②還元焰 ③灰白2.5Y8/1	丸みを帯びて立ち上がる。付高台。高台は「ハ」の字状に開く。施釉方法は漬け掛け。釉調は乳白色。光ヶ丘1号窯式期。
148-15 PL45	灰輪陶器 碗	底部片	口～ 底～7.0 高～(1.6)	①緻密 ②還元焰 硬質 ③灰白10Y8/1	高台は「ハ」の字状に開く。付高台。施釉方法は不明。釉調は緑灰白。底部内面に重ね焼き痕あり。光ヶ丘1号窯式期か。
148-16 PL45	灰輪陶器 碗	底部片	口～ 底～7.7 高～(1.8)	①緻密、白色軽石 ②還元焰 硬質 ③灰白10Y8/1	付高台。高台は断面三角形を呈し、直立する。底部は右回転糸切り。施釉方法は漬け掛け。釉調は緑灰白。虎渡山1号窯式期か。
148-17 PL45	灰輪陶器 碗	底部片	口～ 底～(7.0) 高～(2.4)	①緻密 ②還元焰 硬質 ③灰白10Y7/1	付高台。高台は扇形で三日月状を呈す。施釉方法は刷毛塗り。釉調は緑灰色。光ヶ丘1号窯式期か。
148-18 PL45	土師器 高坏	脚部片	口～ 底～ 高～(4.7)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③橙7.5YR6/8	高坏の脚部片。外面へら削り後横ナデ。接合部に「+」の字の線刻あり。
148-19 PL45	須恵器 高坏	脚部片	口～ 底～ 高～(7.2)	①灰物含、重 ②締 還元 ③灰7.5Y6/1	長脚2段2単位透部あり。脚中央部の沈線帯2条見える。割れ口シャープ。太田。6世紀後～7世紀初。
148-20 PL45	須恵器 高坏	脚部片	口～ 底～ 高～(5.5)	①灰物少、重 ②締 還元 ③灰5Y4/1	短脚高坏。脚部内面に横付痕。外面に横痕。割れ口わずか消耗。伏間。7・8世紀。
148-21 PL45	須恵器 高坏	脚部片	口～ 底～ 高～(4.5)	①灰物少、やや重 ②硬 還元 ③灰10Y6/1	短脚高坏。脚部は欠損後も捺磨され、使用か。内・外面施。割れ口消耗。西毛。6世紀。
148-22 PL45	須恵器 高坏	脚部片	口～ 底～ 高～(5.8)	①灰物少、やや重 ②締 還元 ③灰白10Y8/1	長脚高坏。透部見え。2条沈線帯あり。内面に横付痕。割れ口シャープ。西毛か伏間。7世紀。
149-23 PL45	須恵器 高坏	脚部片	口～ 底～ 高～(5.5)	①灰物少、重 ②硬 還元 ③灰白7.5Y7/1	短脚高坏片。三方の透しあり。割れ口消耗あり。西毛。6世紀。
149-24 PL46	土師器 瓶	胴～底部1/3	口～ 底～(1.4) 高～(5.5)	①粗砂、白色軽石 ②酸化焰 ③にぶい樹7.5YR6/3	底部には円形の孔あり。 外面 へら削り。 内面 へらナデ。
149-25 PL46	灰輪陶器 長頸壺	頸部片	径～(11.2) 高～(10.5)	①緻密 ②還元焰 硬質 ③灰白10Y8/1	口縁部はやや外反しながら立ち上がり、肩部は丸みをもつ。施釉方法は漬け掛け。釉調は緑灰白。大原2号窯式期か。
149-26 PL46	須恵器 壺	胴部片	口～ 底～ 高～	①細砂 ②還元焰 ③灰7.5Y5/1	壺の胴上部か。外面は吹き目、内面は弧状のアテ具痕が見られる。外面に「大金」線刻あり。
149-27 PL46	須恵器 壺と焼台	胴部片と焼台	口～ 底～ 高～	①灰物含、重 ②締 還元 ③灰7.5Y4/1	台部に自然輪付着し、外面は無文。壺は内面が見え平行吹きあり、通常の同心円見え。割れ口シャープ。吉井。8・9世紀。
149-28 PL46	土師器 瓶	口～胴部片	口～(17.8) 底～ 高～(6.8)	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③灰黄緑10YR6/2	胴部は丸みをもち口縁部は強く外反する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。
149-29 PL46	土師器 瓶	取っ手片	長さ～8.0	①細砂、輝石 ②酸化焰 ③橙7.5YR7/6	瓶の取っ手。
149-30 PL46	須恵器 羽釜	口～胴上部片	口～(24.4) 底～ 高～(13.0)	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰黄2.5Y7/2	口縁部は内湾し、胴部は丸みを帯びる。胴は扇形で、水平方向を向く。口縁部内外面横ナデ。
149-31 PL46	陶器 灰輪 壺	頸部片	口～ 底～ 高～	①白灰物含、重 ②締 酸化 ③にぶい赤樹5YR5/3	内・外面に無文であり。胎土に石英粒多量、知多窯のうちは常滑。 割れ口シャープ。頸部立ち気味で13・14世紀か。

遺物観察表

探検番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)		①粘土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴	
			口一 底一 高一	長さ 幅 厚一			
149-32 PL46	陶器 洗滌 甕	胴部片	口一 底一 高一		①灰物含、重 ②締 還元 ③灰白7.5Y7/1	外面に連続し叩き目あり。内面に線作痕あり。割れ口 シャープ。 知多産。12世紀。	
149-33 PL46	平瓦	破片	長一(9.8) 幅一(11.0) 厚一2.0		①灰物含、重 ②締 還元 ③灰7.5Y6/1	製作法は輪巻作り。輪巻木版あり。回転条痕あり。布目 細粘土板糸状痕あり。叩き目無文。側部欠損。製作地は 秋田。時期は7・8世紀中。流用元は国府・国分尼寺か 山王庵寺。	
探検番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)			石材	特徴
149-34 PL46	石製品 砥石	破片	長さ 幅	厚さ 重量	2.1 63		
149-35 PL46	鉄製品 軸状	破片	(10.5)	0.7	0.8 13.57		利用目的不明。接断面内形で巻物状に鍛え目跡あり。層状剥落少なく、 古代鉄小。

3号溝遺物観察表

探検番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)		①粘土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
			口一 底一 高一	長さ 幅 厚一		
150-1 PL46	須臾器 広口壺	胴部片	口一 底一 高一(6.3)		①緻密、黒色灰物 ②還元焼 硬質 ③灰5Y6/1	胴部は上位でよくらむ。 外面胴上部にカキ目が返っている。
150-2 PL46	陶器 甕	口一 体部片	口一(13.6) 底一(9.0) 高一3.4		①灰物微、重 ②締 中性 ③灰白(胎)	外面輪轆目。内面滑らか。重焼成。高台貼付。内面から 外面にかけ、透明感のある長石釉。割れ口シャープ。 瀬戸・美濃。17世紀後～18世紀前。
150-3 PL46	磁器 染付 皿	底部片	口一 底一(7.0) 高一(1.8)		①灰物なし、重 ②締 還元 ③白(胎)	高台部を除き青白磁釉色の透明釉。外面・内面に白い青 色の染付施文あり。割れ口少し消鈍。肥前系。18世紀。
150-4 PL46	磁器 青磁 皿	体部片	口一 底一 高一		①灰物なし、重 ②締 還元 ③淡灰(胎)	桜花皿体部片か。内・外面に淡青緑色の青磁釉施される。 内外面に貫入あり。外面は左上がりのため輪轆右回転。 割れ口消鈍。肥前系。17世紀後～18世紀。
150-5 PL46	磁器 青磁 碗か	体部片	口一 底一 高一		①灰物なし、重 ②締 還元 ③淡緑(釉)	器内薄く、曲率高く、小形品か。内外面暗い青磁釉。磁 胎は、わずかに灰色がある。割れ口シャープ。龍泉窯系か 肥前系。13・14世紀～18世紀。
150-6 PL46	磁器 青磁 碗	口縁部片	口一(11.2) 底一 高一(2.3)		①灰物なし、重 ②締 還元 ③淡緑(釉)	小口径の碗で、内・外面に明るい青磁釉。磁胎は白。割 れ口シャープ。肥前系。17・18世紀。
150-7 PL46	陶器 鉄胎 碗	口一 体部片	口一(12.0) 底一 高一(4.7)		①灰物なし、重 ②締 還元 ③白(胎)	内・外面に錆色釉施される。口縁部外面側はやや禾目状 となる。割れ口シャープ。国産。18世紀。
150-8 PL46	磁器 青磁 碗	体部片	口一 底一 高一		①灰物なし、重 ②締 還元 ③白(胎)	内・外面に透明感のある淡緑色の青磁釉施される。外面 側に左上がりの貫入あり、輪轆右回転。割れ口シャープ。 肥前系。17世紀後～18世紀。
150-9 PL46	磁器 染付 碗	口縁部片	口一(11.0) 底一 高一(4.2)		①灰物なし、重 ②締 還元 ③白(胎)	外面に青花様染付印形施文あり。ペロ型。割れ口シャ ープ。19世紀後～20世紀初。
150-10 PL46	九瓦	小破片	長一(3.1) 幅一(4.6) 厚一1.2		①灰物微、重 ②硬 還元 ③にふい粉7.5YR5/3	製作法は不明。布目側に粘土板糸切り痕あり。叩き目無文。 側部欠損。製作地は観音山。時期は8・9世紀。流用元 は国府・国分尼寺か山王庵寺。
150-11 PL46	九瓦	小破片	長一(4.6) 幅一(4.3) 厚一1.6		①灰物少、軽 ②硬 還元 ③灰N6/	製作法は不明。布目側に粘土板糸切り痕あり。叩き目無文。 側部面取り回数1回。製作地は笠懸。時期は7・8世紀。 流用元は国府・国分尼寺か。
150-12 PL46	平瓦	小破片	長一(5.5) 幅一(8.9) 厚一1.7		①灰物少、重 ②硬 酸化還元 ③灰N5/	製作法は不明。叩き目細格子。側部欠損。製作地は西毛。 時期は7・8世紀。流用元は山王庵寺か。
150-13 PL46	平瓦	小破片	長一(3.4) 幅一(3.2) 厚一1.1		①灰物少、軽 ②硬 還元気味 ③灰N5/	製作法は輪巻作り。布合せ目あり。回転条痕あり。叩き 目無文。側部面取り回数2回。製作地は笠懸。時期は8 世紀。流用元は国府・国分尼寺か。
150-14 PL46	平瓦	小破片	長一(4.5) 幅一(4.5) 厚一1.6		①灰物少、軽 ②硬 還元 ③灰7.5Y5/1	製作法は輪巻作り。輪巻木版あり。叩き目無文。側部欠損。 製作地は西毛。時期は7・8世紀前。流用元は国府・国 分尼寺か山王庵寺。

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				特徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
150-15 PL46	鉄製品 根	覆土 近完存	6.7	1.9	0.9	45.48	頭部にめくれ少なく、木槌併用か、先端は刃状に鋭く、尖らず。鍔化は層状剥落少なく、クラック状に彫割れ目があるため古代鉄。

4号溝遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴

1号井戸遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
153-2 PL46	須恵器 埴	完形	口～13.5 底～5.6 高～5.2	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰7.5Y6/1	丸みを帯びて立ち上がり、口縁部は外反する。 付高台。高台は短く、直立する。 右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
154-3 PL46	須恵器 埴	口～底部1/2	口～(14.4) 底～6.6 高～5.3	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰白5Y7/1	体部は丸みを帯び、口縁部は外反する。 付高台。右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
154-4 PL46	須恵器 埴	口～底部1/2	口～16.6 底～7.6 高～6.0	①細砂、輝石 ②還元焰 ③灰黄2.5Y7/2	直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。 付高台。 右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
154-5 PL46	須恵器 埴	底部片	口～ 底～(6.6) 高～(1.8)	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰5Y5/1	高台は「ハ」の字状に開く。付高台。 底部は右回転糸切り。
154-6 PL46	土師器 壺	口縁部1/6	口～(20.0) 底～ 高～(7.5)	①細砂 ②還元焰 ③明赤褐5YR5/8	口縁部は短く外反し、胴部はふくらむ。 外面 口縁から頂部横ナデ、以下横方向へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。

2号井戸遺物観察表

押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴		
						156-1 PL46	土師器 坏
156-2 PL46	須恵器 坏	底部片	口～ 底～5.0 高～(1.0)	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰黄2.5Y6/2	底部は右回転糸切り。		
156-3 PL46	土師器 鉢	口～体部片	口～(14.7) 底～ 高～(6.8)	①細砂 ②還元焰 ③明赤褐5YR5/8	口縁部は短く外反する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下剥毛目。		
156-4 PL46	土師器 高坏	坏部片	口～底～ 高～(2.0)	①細砂②還元焰 ③明赤褐5YR5/6	坏底部に指頭圧痕があり、脚部との接合痕が残る。		
156-5 PL46	土師器 壺	口～胴部1/4	口～(17.1) 底～ 高～(11.0)	①細砂、輝石 ②還元焰 ③にぶい焼7.5YR6/4	口縁部は外反し、胴部は大きくふくらむ。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。		
156-6 PL46	土師器 瓶	胴～底部片	口～ 底～(9.0) 高～(6.0)	①粗砂 ②還元焰 ③にぶい黄橙10YR7/3	胴部は直線的にすばまる。 外面 へら削り。 内面 へらナデ。		
押印番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)			石材 特徴	
			長さ	幅	重量		
156-7 PL47	石製品 磨石	覆土下層	9.3	6.5	3.3	227	粗粒輝石安山岩 表点描部に赤金屑による磨耗あり。右側部上方に金屑らしき打込みキズあり。右・左側部は打ち欠き。

遺物観察表

8号土坑遺物観察表

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
158-1 PL47	土師器 坏	□-底部1/3	□-(14.0) 底- 高-(5.2)	①細砂 ②酸化焙 ③明赤褐色5YR5/8	口縁部は内湾し底部から底部にかけて丸みをもつ。 外面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。底部へら削り。 内面 へら磨き。

12号土坑遺物観察表

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
159-1 PL47	土師器 羽釜	口縁部片	□-(19.2) 底- 高-(8.2)	①粗砂、小礫 ②酸化焙 ③灰黄2.5Y7/2	口縁部は強く内傾し、胴部は丸みを帯びる。 柄は指で磨み上げ、上方を向く。 口縁は内外面横ナデ。

15号土坑遺物観察表

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
159-1 PL47	須恵器 坏	□-底部3/4	□-12.2 底-5.7 高-4.5	①細砂、輝石 ②酸化焙 軟質 ③灰黄2.5Y8/3	体部は丸みを帯びて立ち上がる。 右回転轆轤成形。体部下半、底部はへら削り。 成形が拙。
159-2 PL47	須恵器 埴	ほぼ完形	□-12.9 底-6.5 高-5.5	①細砂、輝石 ②酸化焙 ⑤にぶい黄橙10YR6/4	胴部が張り、口縁部は直線的に立ち上がる。 付高台。高台は「ハ」の字状に開く。 右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
159-3 PL47	須恵器 埴	□-底部3/4	□-13.0 底-6.0 高-4.9	①粗砂、輝石 ②酸化焙 ⑤にぶい黄7.5YR5/4	体部は丸みを持ち、口縁部は外反する。 付高台。右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
159-4 PL47	須恵器 埴	体-底部1/2	□- 底-(6.5) 高-(4.7)	①細砂、輝石 ②酸化焙 ③灰黄2.5Y6/2	体部は丸みをもちふくらむ。高台部は欠損している。 右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。

18号土坑遺物観察表

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				特徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
160-1 PL47	鉄製品 釘	完存	8.4	0.6	0.6	9.65	頭部潰しの釘で、3.1cmの板と4.1cmの板を留めたらしく、直交する 2種の木質あり。錆化質少し異なり、クラック見えず。
160-2 PL47	鉄製品 工具小	近完存	8.0	1.4	0.6	6.26	頭部に、打ち込みめくれがわずかにあり、打ち込みを主とする穴割り などの工具か。層状剥落少なく、少欠部に軽錆え目あり。
160-3 PL47	鉄製品 釘	破片	(4.1)	(0.7)	(0.5)	5.19	頭部潰しか、幅2.2cmの板と1.3cm以上の板材を留めた木質付着。2と 同様の地金か、錆化似る。剥落少ない。先は調査時欠損。
160-4 PL47	鉄製品 刀子	2/3	(11.5)	1.0	0.5	6.31	茎部は、横断面は長方形を成す。縦方向の木質の下に、下地巻を施 した繊維状付着。柄と茎及び下地巻か。刃部は、フクラ付く。右利き 用か、少し鋭む。鍛えは層状剥落、クラック発達せず。

20号土坑遺物観察表

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
160-1 PL47	土師器 坏	□-底部7/8	□-10.8 底-6.0 高-3.4	①細砂 ②酸化焙 軟質 ③灰黄2.5Y7/2	直線的に立ち上がる。底部は平底で手持ちへら削り。 外面 口縁部横ナデ、以下横方向のへら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へらナデ。
160-2 PL47	須恵器 甗	頸部片	□- 底- 高-(5.7)	①細砂、小礫 ②還元焙 ③灰5Y4/1	口縁から頸部内外面横ナデ。

22号土坑遺物観察表

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
161-1 PL47	土師器 砂台	脚部片	□- 底-(12.8) 高-(3.0)	①細砂、黒色紅物 ②酸化焙 ③橙7.5YR6/6	器壁が薄く、脚部は「ハ」の字状に開く。 外面 へら磨き。 内面 へらナデ。

24号土坑遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
161-1 PL47	須恵器 大甕	底部片	口一 底一14.0 高一	①細砂 ②還元焰 硬質 ③灰7.5Y6/1	外面 平行明き目。

25号土坑遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
161-1 PL47	土師器 坏	口一・体部片	口一(10.0) 底一 高一(2.6)	①細砂 ②酸化焰 ③にぶい関7.5YR6/3	口縁部は直立し、体部に稜をもつ。 体部から底部へはへり。口縁部横ナデ。
161-2 PL47	須恵器 埴	口一・底部1/3	口一(11.5) 底一6.0 高一(3.3)	①細砂、黒色鉱物 ②酸化焰 ③灰白7.5Y8/1	やや丸みを帯び立ち上がる。高台部は欠損。 底部は回転糸切り(回転方向不明)。成形が確。
161-3 PL47	灰輪陶器 埴	底部片	口一 底一(6.2) 高一(1.8)	①緻密、黒色鉱物 ②還元焰 硬質 ③灰白2.5Y7/1	高台は断面三角形を呈し、やや開く。 付高台。輪軸方法は漬け掛け。 輪調は乳白色。大原2号産式期。
161-4 PL47	灰輪陶器 壺	胴一胴部1/4	口一 底一 高一(8.3)	①緻密 ②還元焰 ③相灰10YR6/1	胴部に肩が張る。胴中に輪のたれた痕跡残る。 輪軸方法は漬け掛け。輪調は灰色。産地は東海静岡か。
161-5 PL47	須恵器 瓶類か	口縁部のみ	口一6.0 底一 高一(3.0)	①細砂 ②還元焰 ③黒5Y2/1	提坂か平坂の口縁部。 外面 口縁部横ナデ、頸部へら磨き。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
162-6 PL47	須恵器 大甕	底部片	口一 底一 高一(14.5)	①細砂 ②還元焰 ③灰10Y5/1	須恵器大甕の底部片。 外面 平行明き。 内面のアチ具痕は不明瞭。

26号土坑遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
162-1 PL47	土師器 甕	口縁部片	口一(19.8) 底一 高一(4.2)	①粗砂、礫石 ②酸化焰 ③明赤褐5YR5/6	口縁部は外反する。 外面 頸部へら磨り。口縁部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。

8号ピット遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
163-1 PL47	須恵器 坏	口一・体部片	口一(14.1) 底一 高一(4.0)	①粗砂、黒色鉱物 ②還元焰 やや軟質 ③灰白10YR7/1	口縁部はやや反し、体部は丸みをもつ。 輪軸成形。作りが確。

22号ピット遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
163-1 PL47	土師器 坏	口縁部片	口一(13.8) 底一 高一(4.0)	①細砂、礫石 ②酸化焰 ③橙5YR6/6	体部は丸みを帯び、口縁部は内斜する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら磨り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。

24号ピット遺物観察表

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
163-1 PL47	土師器 甕	口縁部片	口一(16.0) 底一 高一(5.9)	①細砂、礫石 ②酸化焰 ③橙5YR6/8	口縁部は「コ」の字状を呈す。 外面 口縁部横ナデ、以下縦方向のへら磨り。 内面 口縁部横ナデ、接合痕残る。

遺物観察表

36号ピット遺物観察表

採回番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成	成・整形技法の特徴
				③色調	
163-1 PL47	土師器 鉢	口～底部3/4	口～9.0 底～丸底 高～12.5	①粗砂、白色軽石 ②酸化焙 やや軟質 ③灰白2.5YR/2	丸底で体部は丸みをもちながら、口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナガ、以下へら削り。 内面 体部はへらナゲ

54号ピット遺物観察表

採回番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成	成・整形技法の特徴
				③色調	
163-1 PL47	丸瓦	覆土 小破片	長～(5.8) 幅～(4.4) 厚～1.5	①紅物微、やや軽 ②並 還元 ③灰白7.5Y7/1	製作法は2枚作り。布合せ目あり。回転条痕あり。叩き目無文。裏面周縁回数3回。製作地伏間。時期8・9世紀前。流用元は国府・園分尼寺か山王塚寺。

遺構外遺物観察表(縄文時代)

採回番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成	成・整形技法の特徴			
				③色調				
165-1 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ②明赤褐5YR5/6	器面調整が雑。早期後半。 内面 横位の条痕。外面 斜位の条痕。			
165-2 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ②明赤褐5YR5/6	外面 縦位の条痕。早期後半。 内面 斜位の条痕。			
165-3 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ②明赤褐5YR5/6	内外面縦位の条痕。早期後半。			
165-4 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ③にふい赤褐5YR4/4	内外面斜位の条痕。早期後半。			
165-5 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ③明赤褐5YR5/6	外面 斜位の条痕。早期後半。			
165-6 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、小礫 ③にふい赤褐2.5YR4/4	外面 斜位の条痕。早期後半。			
165-7 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ②明赤褐2.5YR5/6	外面 縦位の条痕。早期後半。 内面 横位の条痕。			
165-8 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、小礫 ③にふい赤褐2.5YR4/4	内外面縦位の条痕。早期後半。			
165-9 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①織織、白色粒 ③にふい赤褐2.5YR4/4	外面縦位の条痕。早期後半。			
165-10 PL47	縄文 深鉢	底部片	底～(12.0) 高～(3.2)	①粗砂粒、石英 ③にふい赤褐2.5YR4/4	直立気味に立ち上がる底部。底部に網代残る。後期か。			
165-11 PL47	縄文 深鉢	胴部片	底～ 高～	①粗砂、石英 ③にふい赤褐5YR7/4	外面に草筋R.L縄文を施す。中期後半。			
採回番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm・g)				石材	特徴
			長さ	幅	厚さ	重量		
166-12 PL47	石器 打製石斧	1/2	(4.5)	3.0	0.85	15	黒色頁岩	割片を素材とし、両面周辺に調整加える。下半欠損。基部破片。
166-13 PL47	石器 打製石斧	1/2	(5.0)	4.3	1.9	49	黒色頁岩	割片を素材とする。表面両側と裏面右側に調整加える。刃部欠損。
166-14 PL47	石器 打斧未製品	2/3	(6.4)	5.0	1.1	50	実質安山岩	割片を素材とする。表裏の全周に調整加える。基部に比して刃部が広がるバチ形を呈する。基部及び刃部の一部を欠損。
166-15 PL47	石器 スクレイパー	ほぼ完形	7.2	5.9	0.7	39	黒色頁岩	割片を素材とする。表面両側に調整を加えて刃部を作り出していると思われるが、左側は破損により欠損している。先端部にも加工が施される。
166-16 PL47	石器 打斧未製品	ほぼ完形	13.5	6.8	3.1	214	細粒輝石安山岩	割片を素材とする。表裏の周辺に不規則な調整加える。両側の中央部に挟り入る。基部一部欠損。未製品か。
166-17 PL48	石器 打製石斧	ほぼ完形	(13.4)	8.0	2.4	394	黒色頁岩	大型の割片を素材とする。表面の先端から右側全面に調整加え整形。表裏に素材割片の面が大きく残る。先端部一部欠損。
166-18 PL48	石器 打製石斧	完形	17.6	8.1	4.3	602	黒色頁岩	打製石斧。両側の中央よりやや上に挟りが入る。刃部が広がるバチ形を呈する。大型の割片素材と思われ、裏面全面に調整加える。両側の挟り部分は一部破打によって整形。使用による摩滅は見られない。
166-19 PL48	石器 石剣	完形	18.9	10.5	3.2	655	黒色頁岩	刃部が丸く広がり、基部を細く作り出す。大型の割片を素材とし、内面に調整加える。調整の傾度は高いが、表裏の一部に素材の面を残す。

遺構外遺物観察表(古墳時代)

拝図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②構成 ③色調	成・整形技法の特徴
167-1 PL48	土師器 壺	肩部片	口- 底- 高-	①細砂、輝石 ②酸化塩 ③明赤褐5.YR5/6	造の肩部片。 外面 刷毛目以下帯目による横位の羽状文。
167-2 PL48	土師器 坏	口-底部1/2	口-15.6 底-丸底 高-6.7	①細砂、輝石 ②酸化塩 硬質 ③橙7.5YR5/6	口縁部は内斜し底部は丸底を呈す。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。
167-3 PL48	土師器 坏	口-底部2/5	口-12.0 底-丸底 高-4.0	①細砂 ②酸化塩 ③橙7.5YR7/6	口縁部は直線的に開き、底部との間に稜をもつ。 底部はゆるい丸底を呈す。口縁部は横ナデ。 底部はへら削り。
167-4 PL48	土師器 坏	口-底部5/6	口-12.2 底-丸底 高-3.7	①細砂 ②酸化塩 ③明赤褐5YR5/6	底部から体部は丸みをもち、口縁部はほぼ直立する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、底部に指頭圧痕あり。
167-5 PL48	土師器 坏	口-底部2/3	口-13.3 底-丸底 高-4.5	①細砂、輝石 ②酸化塩 硬質 ③明赤褐2.5YR5/6	底部から口縁部にかけて内湾する。 外面 口縁部横ナデ、以下へら削り。 内面 口縁部横ナデ、以下へら磨き。

遺構外遺物観察表(奈良・平安時代)

拝図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②構成 ③色調	成・整形技法の特徴
168-1 PL48	須恵器 坏	口-底部3/5	口-(12.2) 底-6.4 高-3.8	①細砂、輝石 ②還元塩 硬質 ③灰白10YR7/1	直線的に立ち上がる。轆轤成形。 底部は右回転糸切り。
168-2 PL48	須恵器 坏	口-底部4/5	口-13.6 底-7.4 高-2.5	①細砂 ②還元塩 ③灰白7.5Y7/1	直線的に立ち上がり、口縁部はやや外反する。 内外面とも轆轤痕弱。右回転轆轤成形。 底部は右回転糸切り。
168-3 PL48	須恵器 坏	口-底部1/4	口-(13.6) 底-(6.5) 高-4.3	①細砂、小礫 ②還元塩 ③灰白7.5Y7/1	直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。 右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
168-4 PL48	須恵器 灯明皿	ほぼ定形	口-8.6 底-4.6 高-1.3	①細砂、輝石 ②酸化塩 軟質 ③橙5YR7/6	灯明皿に使用した痕あり。轆轤成形。底部は右回転糸切り。 口縁部が一部欠け。
168-5 PL48	須恵器 皿	口-底部3/5	口-8.4 底-5.6 高-2.1	①細砂、白色礫石 ②酸化塩 やや軟質 ③橙7.5YR6/6	体部は直線的に立ち上がり、口縁部はやや外反する。 底部は右回転糸切り。成形時の歪みあり。
168-6 PL48	須恵器 皿	口-底部2/3	口-(7.8) 底-5.0 高-2.0	①細砂、小礫 ②酸化塩 軟質 ③橙7.5YR6/6	口縁部はやや外反する。轆轤成形。右回転糸切り。 器壁は厚い。
168-7 PL48	灰輪陶器 皿	口-底部片	口-(11.6) 底-(5.6) 高-2.4	①緻密 ②還元塩 硬質 ③灰白10Y7/1	やや丸みを帯びて立ち上がる。付高台。施輪方法は漬け 掛け。輪調は乳白色。大原2号窯式期。
168-8 PL48	須恵器 碗	口-底部片	口-(14.4) 底-(8.4) 高-5.6	①細砂 ②還元塩 硬質 ③灰10Y6/1	胴部が張り、口縁部はやや外反する。 付高台。右回転轆轤成形。
168-9 PL48	須恵器 碗	口-底部1/3	口-12.6 底-(7.6) 高-6.6	①細砂 ②還元塩 ③灰白5Y8/2	体部から口縁部はやや丸みを帯び立ち上がる。 右回転轆轤成形。底部は右回転糸切り。
168-10 PL48	須恵器 碗	体-底部3/4	口- 底-5.6 高-(3.7)	①細砂 ②酸化塩 ③にふい責橙10YR6/4	体部は直線的に立ち上がる。付高台。高台は「ハ」の字 状に開く。底部は回転糸切り(回転方向不明)。
169-11 PL48	須恵器 碗	口-底部1/3	口-14.2 底-6.6 高-5.2	①細砂 ②還元塩 ③灰白7.5Y7/1	直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。 内面の轆轤痕明。右回転轆轤成形。底部は回転糸切り 後付高台。
169-12 PL48	須恵器 碗	口-底部1/2	口-15.3 底-6.8 高-4.7	①細砂、輝石 ②酸化塩 ③黒褐10YR3/1	直線的に立ち上がり、高台は「ハ」の字状に開く。 付高台。右回転轆轤成形。 底部は右回転糸切り。
169-13 PL48	灰輪陶器 碗	口-体部片	口-(15.8) 底- 高-(4.6)	①緻密 ②還元塩 硬質 ③灰白2.5Y7/1	丸みを帯びて立ち上がる。右回転轆轤成形。施輪方法は 漬け掛け。輪調は灰白色。大原2号窯式期。

遺物観察表

韓国番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
169-14 PL48	須恵器 壺	口縁部片	口-(17.8) 底- 高-(6.5)	①細砂、白色軽石 ②還元焰 ③灰7.5Y6/1	口縁部は受け口状を呈す。 右回転機械成形。
169-15 PL48	土師器 土釜	口-胴部片	口-(22.0) 底- 高-(7.2)	①粗砂、小礫 ②酸化焰 ③にぶい黄橙10YR6/4	口縁部は短く外反し、胴部は丸みを帯びる。口縁端部に利突痕がめぐる。外面 口縁下部横ナデ。 内面 口縁横ナデ、以下へらナデ。
169-16 PL48	須恵器 羽蓋	口縁部片	口-(19.4) 底- 高-(5.2)	①粗砂 ②酸化焰 硬質 ③にぶい黄橙10YR7/4	口縁部は内湾する。胴は断面三角形を呈し、水平方向を向く。 口縁部内外面横ナデ。
169-17 PL48	丸瓦	破片	長-(8.4) 幅-19.4 厚-1.8	①灰物少、重 ②並 酸化気味 ③淡黄2.5Y8/3	製作法は2枚割り。回転染成あり。叩き目無文。側部面取り回数2回。製作地は笠懸。時期は7・8世紀。流用元は国府・国分尼寺か。
170-18 PL48	平瓦	小破片	長-(12.1) 幅-(11.2) 厚-2.5	①灰物含、重 ②硬 還元 ③灰7.5Y4/1	製作法は1枚作り。布目側の粘土板糸切痕あり。叩き目無文。側部欠損。製作地不明。時期は7～9世紀。流用元は国府・国分尼寺か山王庵寺。
170-19 PL48	平瓦	小破片	長-(2.6) 幅-(4.1) 厚-1.7	①灰物含、重 ②硬 還元 ③灰5Y5/1	製作法は1枚作り。叩き目稀疎状。側部面取り回数2回。製作地は伏見。時期は9世紀前。流用元は国府・国分尼寺か山王庵寺。側部型外粘土はみ出し。

遺構外遺物観察表(中世以降)

韓国番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形技法の特徴
171-1 口縁	磁器 白磁 碗	口-体部片	口-(12.4) 底- 高-(5.5)	①灰物なし、重 ②稀 還元 ③白(胎)	内面滑らか、外面上方輪轆目、下半回転削、内面に使用擦痕あり。割れ口わずかに消滅。外面下方は露胎となる。中国。11世紀。
171-2 口縁	磁器 白磁 碗	体部片	口- 底- 高-	①灰物なし、重 ②稀 還元 ③淡白灰	内・外面に白磁施される。内面に沈線1条。外面は回転削が下半の露胎部に見える。内面に使用擦痕わずかにあり。中国。11～13世紀。
171-3 口縁	磁器 青磁 碗	口縁部片	口-(16.0) 底- 高-(3.0)	①灰物なし、重 ②稀 還元 ③淡灰	外面に縮手連弁文施し、内・外面に淡青色の発色の濃い青磁釉を施す。割れ口シャープ。使用擦痕ほとんど見え。龍泉窯。12世紀末～13世紀。
171-4 PL48	磁器 白磁	体部片	口- 底- 高-	①灰物なし、重 ②稀 還元 ③白(胎)	内・外面に透明感のある白磁釉。割れ口シャープ。肥前系。19・20世紀。
171-5 PL48	火鉢	脚部片	長-(5.1) 幅-(5.7) 厚-2.3	①灰物含、雲母粒微 ②並酸化気味 ③にぶい藍7.5YR6/4	角形火鉢の脚部と考えられ、各部面取りは匙形。上方接合面に砂付着。15世紀～17世紀。製作地は藤岡市以南。
171-6 PL48	石製品 石板	小破片	長-(2.9) 幅-(1.5) 厚-0.25	① ② ③黒色	表面に界線の沈線1条あり。割れ口シャープ。19世紀後・20世紀。

写 真 图 版



B・E区竪穴住居跡群（上空から）



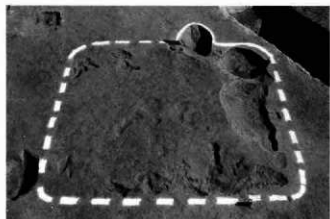
2号溝・竪穴採掘痕跡群（上空から）



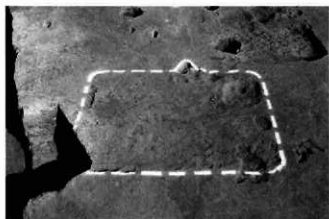
1号住居跡全景（南から）



2号住居跡掘り方全景（南から）



3号住居跡掘り方全景（西から）



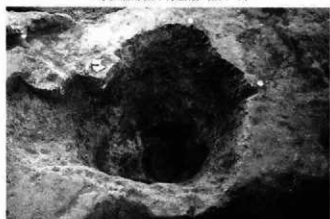
4号住居跡掘り方全景（西から）



5号住居跡掘り方全景（西から）



6号住居跡掘り方全景（西から）



6号住居跡貯蔵穴（西から）



7号住居跡掘り方全景（西から）



8号住居跡掘り方全景（東から）



9号住居跡掘り方全景（南から）



10号住居跡掘り方全景 (西から)



11号住居跡掘り方全景 (西から)



12号住居跡掘り方全景 (西から)



12号住居跡竈遺物出土状況 (西から)



13号住居跡遺物出土状況 (西から)



14号住居跡遺物出土状況（南から）



14号住居跡北竈遺物出土状況（南から）



14号住居跡北竈セクション（西から）



14号住居跡掘り方全景（南から）



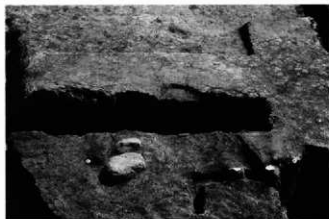
14号住居跡遺物出土状況（北から）



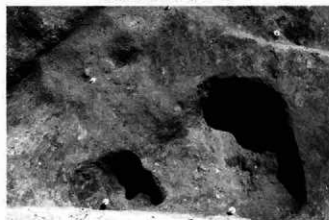
15号住居跡全景 (南から)



16号住居跡全景 (西から)



16号住居跡竈全景 (西から)



17号住居跡竈全景 (北から)



18号住居跡掘り方全景 (西から)



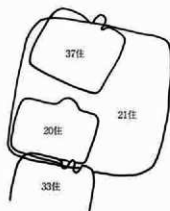
19号住居跡遺物出土状況（西から）



19号住居跡壙全景（西から）



20・21・37号住居跡遺物出土状況（西から）



20・21・37号住居跡概念図



20・21・37号住居跡掘り方全景（西から）



22号住居跡全景（南から）



24号住居跡壺全景（西から）



23・24号住居跡遺物出土状況（西から）



23・24号住居跡概念図



25号住居跡掘り方全景（西から）



26号住居跡遺物出土状況（西から）



26号住居跡壙全景（西から）



27号住居跡全景（西から）



28号住居跡遺物出土状況（西から）



29号住居跡掘り方全景（西から）



30号住居跡全景（西から）



31号住居跡遺物出土状況（西から）



31号住居跡全景（西から）



32号住居跡遺物出土状況（西から）



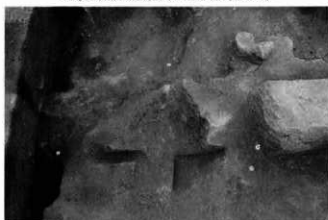
32号住居跡遺物出土状況（西から）



32号住居跡鉄製紡錘車出土状況（北から）



33号住居跡全景（西から）



33号住居跡全景（西から）



35号住居跡全景（西から）



35号住居跡掘り方（西から）



38号住居跡遺物出土状況（西から）



38号住居跡掘り方（西から）



39号住居跡全景（西から）



34号住居跡全景（西から）



34号住居跡掘り方（西から）



36A・B・C号住居跡遺物出土状況（南西から）



36A・B・C号住居跡概念図



36号住居跡掘り方実測風景（南西から）



40号住居跡遺物出土状況(南から)



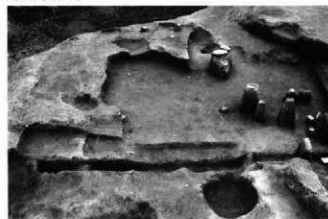
40号住居跡遺物出土状況(西から)



41号住居跡遺物出土状況(西から)



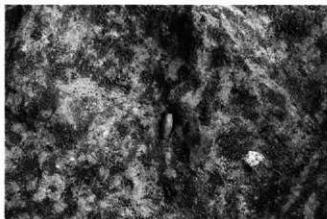
41号住居跡遺物出土状況(西から)



42・46号住居跡遺物出土状況(西から)



43号住居跡全景（西から）



43号住居跡土鋪出土状況（北から）



44号住居跡掘り方全景（西から）



45号住居跡遺物出土状況（西から）



47号住居跡全景（西から）



47号住居跡全景（西から）



48号住居跡全景（南西から）



49号住居跡全景（西から）



50号住居跡全景（西から）



50号住居跡竈全景（西から）



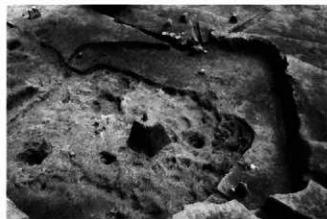
51号住居跡全景（南西から）



52号住居跡全景（西から）



52号住居跡竈全景（西から）



53号住居跡全景 (南西から)



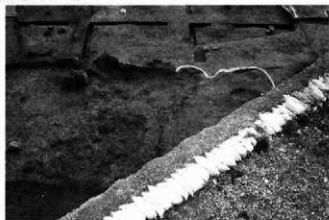
53号住居跡全景 (南西から)



54号住居跡遺物出土状況 (西から)



55号住居跡全景 (南西から)



58号住居跡全景 (西から)



56号住居跡掘り方全景 (西から)



56号住居跡掘り方全景 (西から)



57号住居跡遺物出土状況 (西から)



57号住居跡全景 (西から)



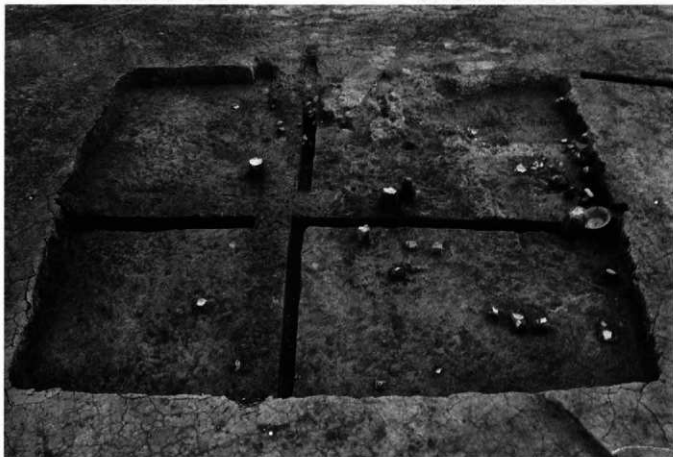
57号住居跡遺物出土状況 (西から)



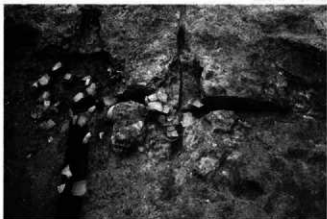
59号住居跡全景 (西から)



59号住居跡遺物出土状況 (西から)



60号住居跡遺物出土状況 (西から)



60号住居跡遺物出土状況 (西から)



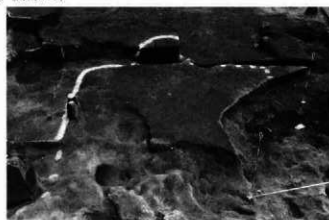
60号住居跡全景 (西から)



61号住居跡全景 (南西から)



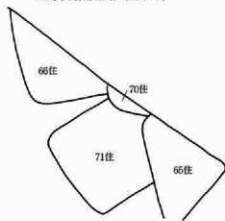
61号住居跡遺全景 (西から)



63号住居跡全景 (西から)



65・66・70・71号住居跡掘り方全景 (西から)



65・66・70・71号住居跡概念図



64・69号住居跡遺物出土状況（西から）



64号住居跡竈全景（西から）



69号住居跡壺全景 (西から)



64・69号住居跡全景 (西から)



64号住居跡壺天井石 (西から)



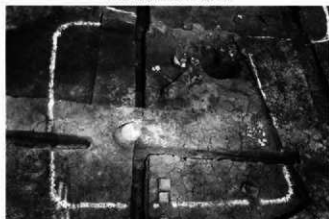
64号住居跡壺支脚石 (西から)



67号住居跡全景 (西から)



67号住居跡壺掘り方 (西から)



68号住居跡全景 (西から)



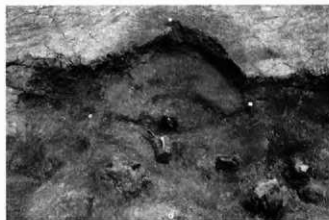
68号住居跡壺・貯蔵穴 (西から)



72号住居跡遺物出土状況 (西から)



72号住居跡遺物出土状況 (西から)



72号住居跡竈掘り方 (西から)



73号住居跡全景 (西から)



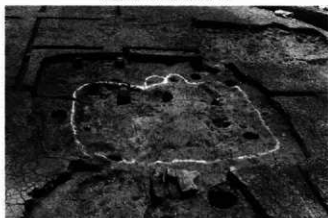
73号住居跡竈全景 (西から)



75号住居跡全景（西から）



75号住居跡竈全景（西から）



76号住居跡掘り方全景（西から）



76号住居跡炉全景（西から）



77号住居跡掘り方全景（南西から）



78号住居跡全景（西から）



78号住居跡竈全景（西から）



79号住居跡全景（西から）



80号住居跡全景 (西から)



80号住居跡貯蔵穴 (西から)



82号住居跡全景 (西から)



82号住居跡全景 (西から)



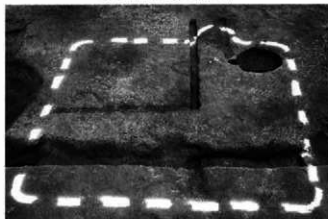
83号住居跡全景 (西から)



84号住居跡全景 (西から)



85号住居跡全景 (西から)



86号住居跡全景 (西から)



2号溝全景 (北から)



2号溝全景 (南上空から)



2号溝セクション (南から)



2号溝馬歯出土状況 (東から)



3号溝全景 (南から)



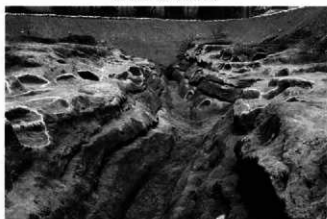
4号溝全景 (西から)



5号溝全景 (西から)



6号溝全景 (東から)



竈構築材採掘痕全景 (南から)



竈構築材採掘痕全景 (北から)



竈構築材採掘痕近景 (北東から)



竈構築材採掘痕近景 (東から)



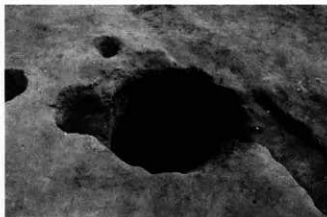
竈構築材採り残し痕① (西から)



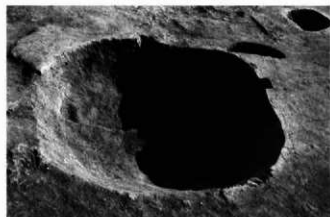
竈構築材採り残し痕② (東から)



1号井戸全景 (東から)



2号井戸全景 (西から)



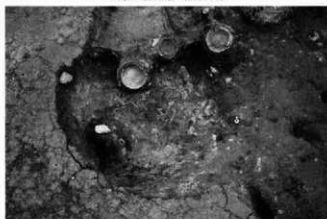
8号土坑全景 (北から)



11号土坑全景 (南から)



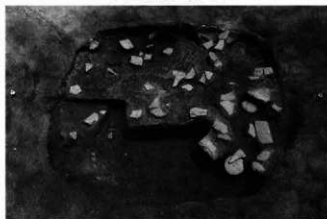
12号土坑全景 (西から)



15号土坑全景 (南から)



18号土坑全景 (南から)



20号土坑全景 (西から)



22号土坑全景 (北から)



23号土坑全景 (西から)



24号土坑全景 (西から)



25号土坑全景 (西から)



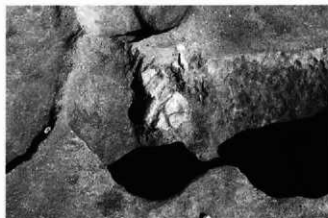
26号土坑全景 (南から)



8号ピット全景 (南から)



24号ピット全景 (南から)



35・36号ピット全景 (南から)



Bトレンチ全景 (北から)



Dトレンチ全景 (西から)



Bトレンチセクション (西から)



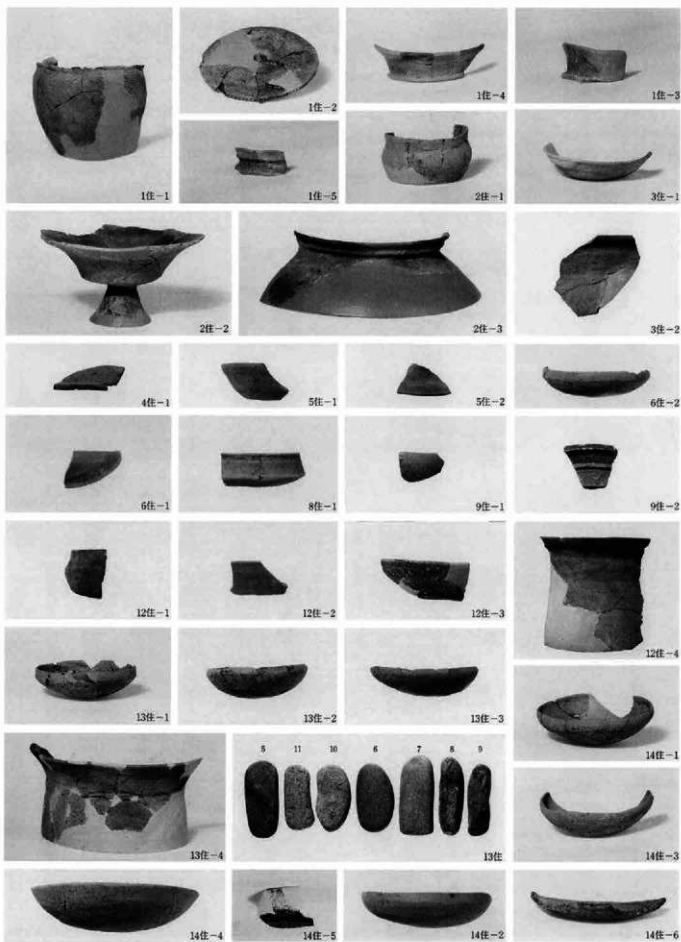
Dトレンチセクション (南から)

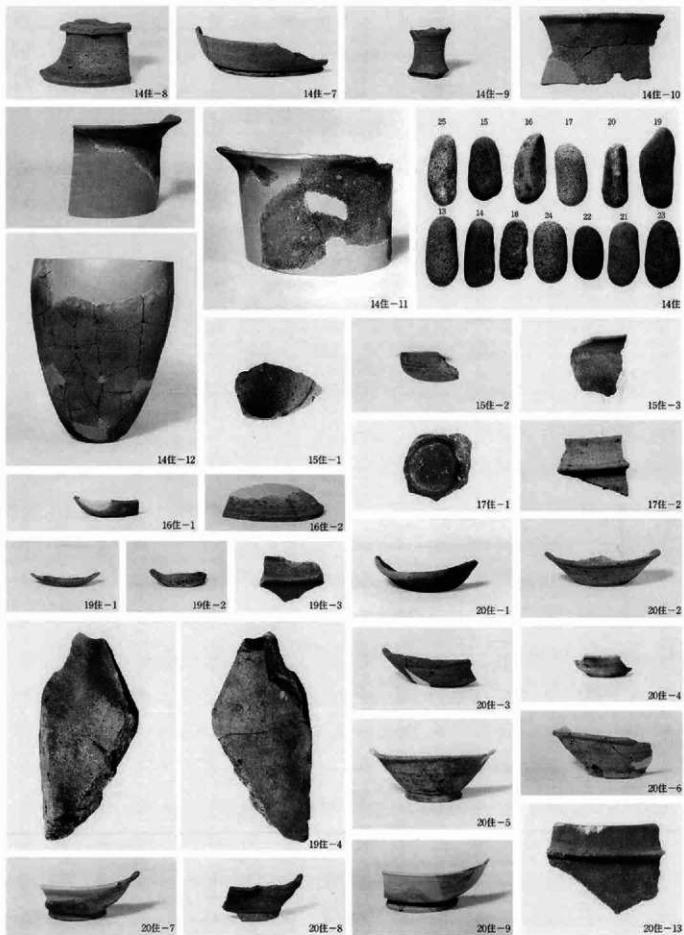


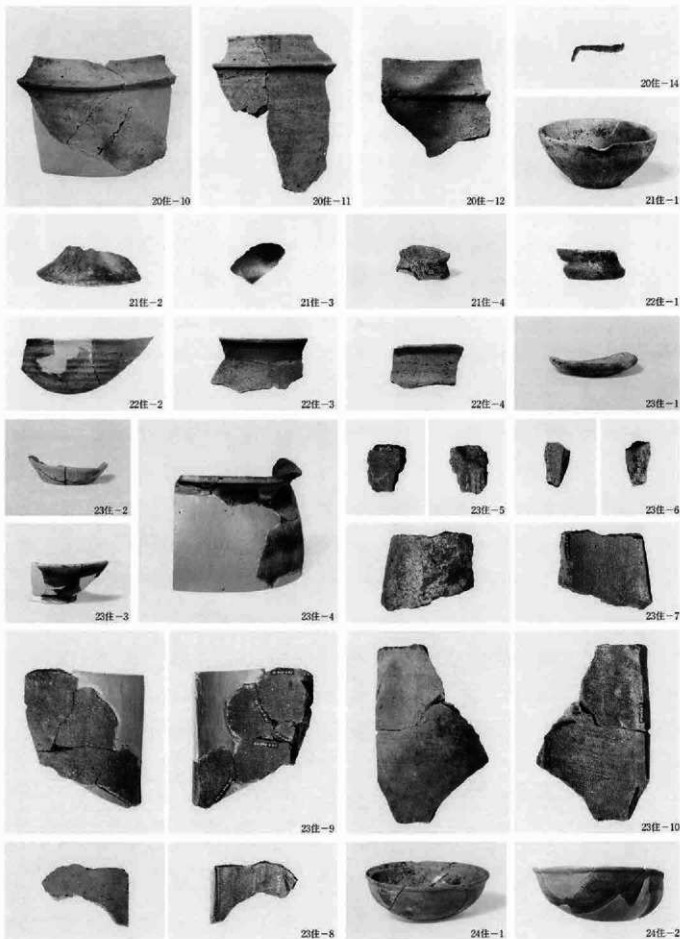
Eトレンチ全景 (西から)



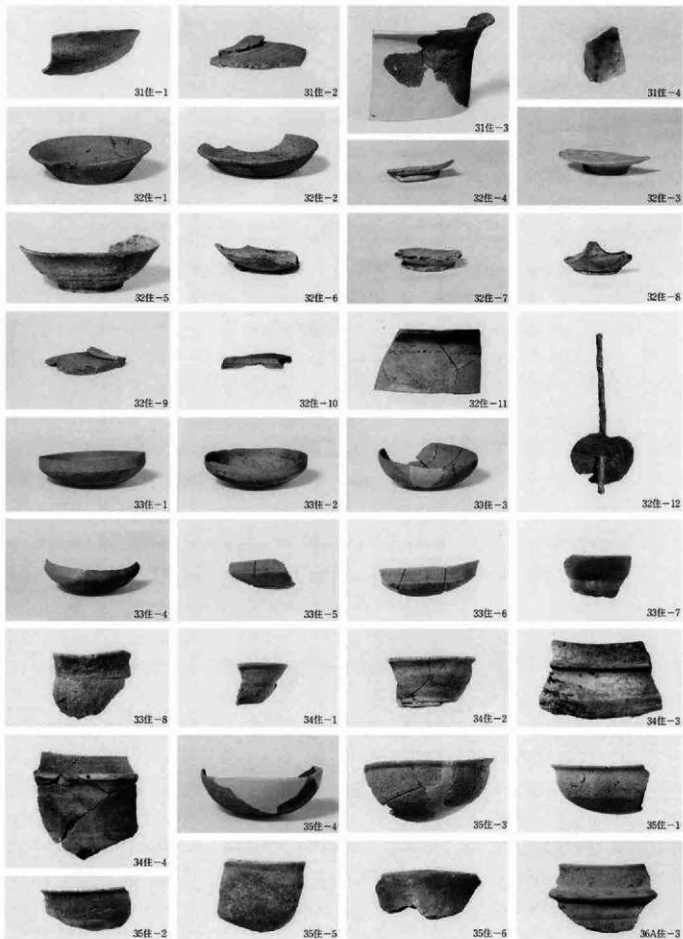
Eトレンチ (旧河道) セクション (南から)

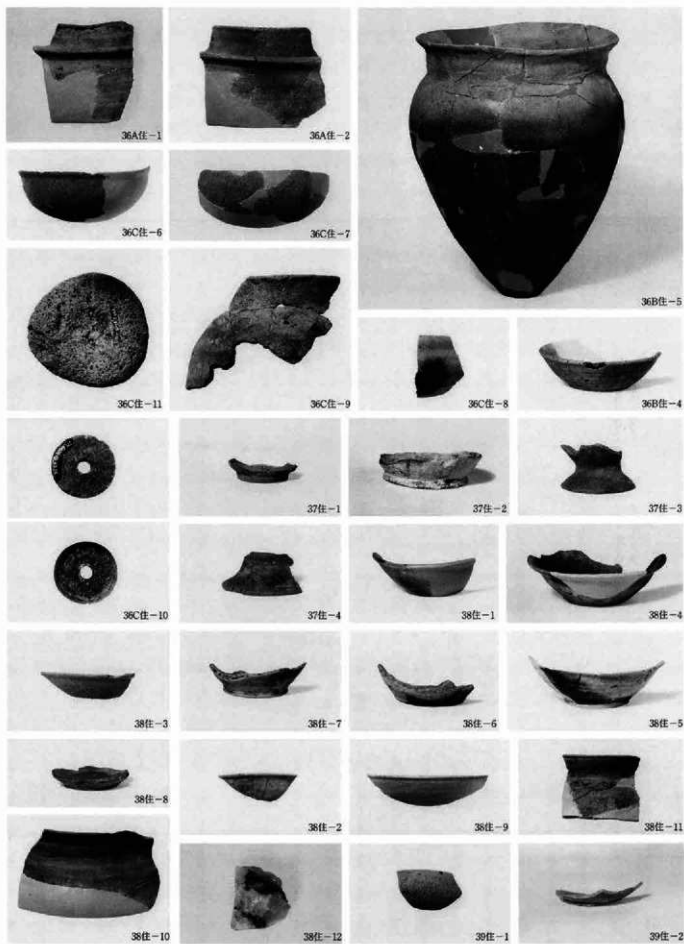


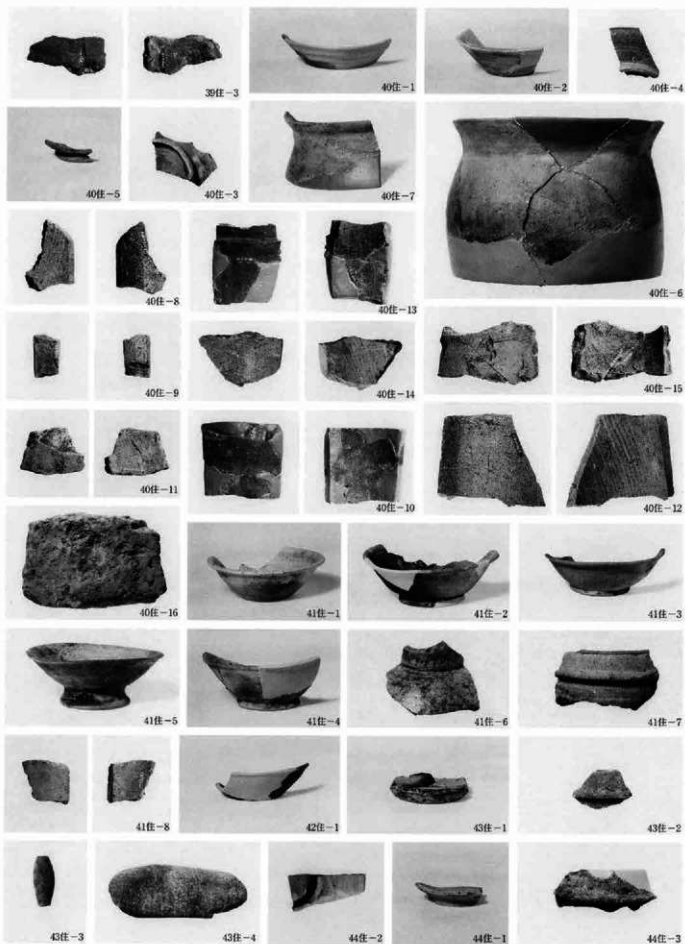




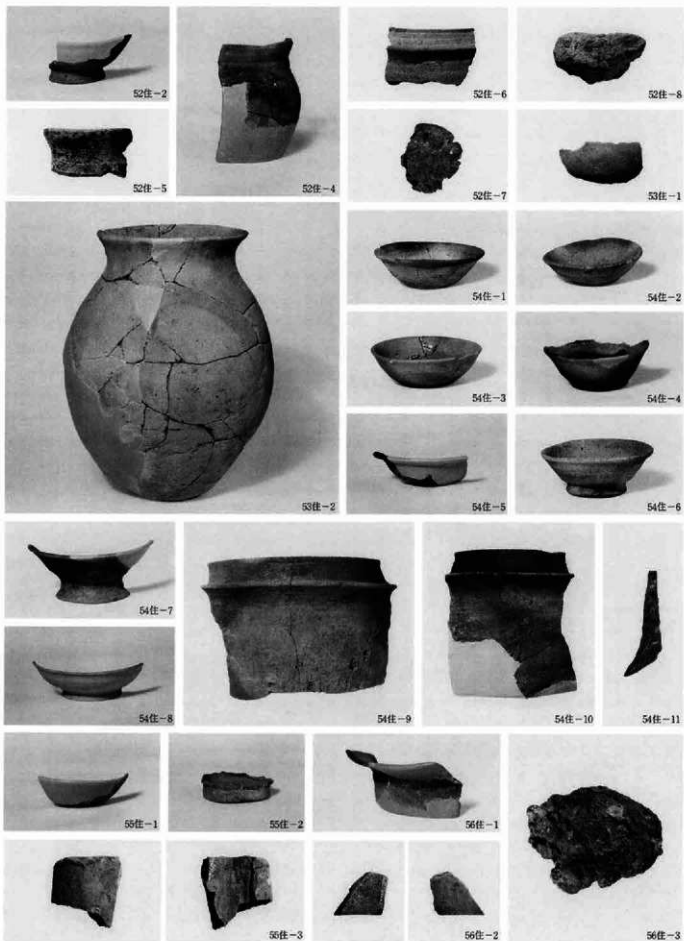














57住-1



57住-4



57住-3



57住-2



57住-6



57住-5



57住-7



57住-8



57住-9



57住-10



57住-13



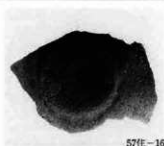
57住-11



57住-14



57住-17



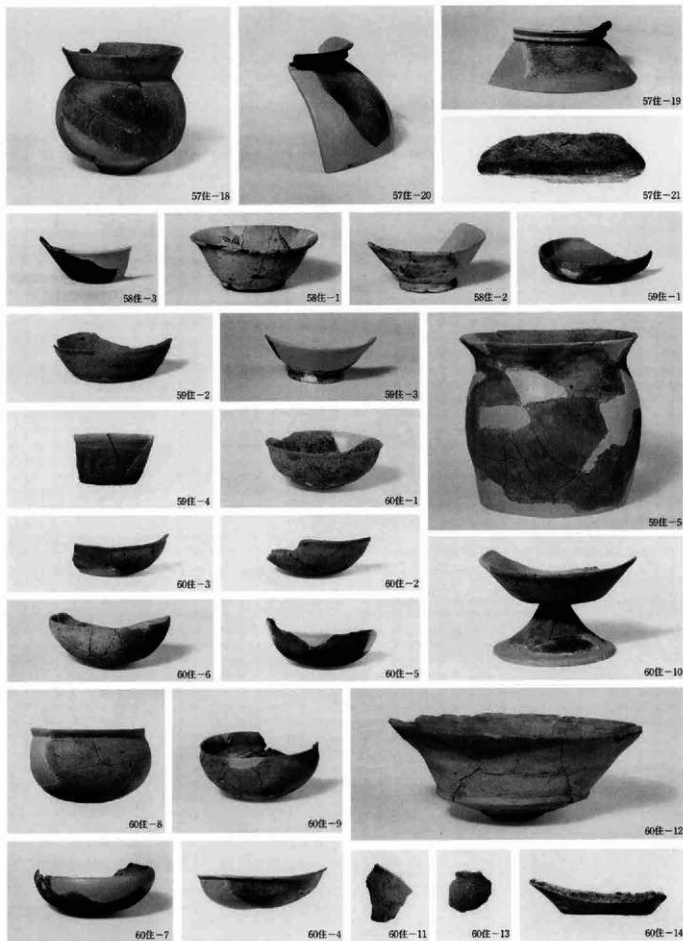
57住-16



57住-15



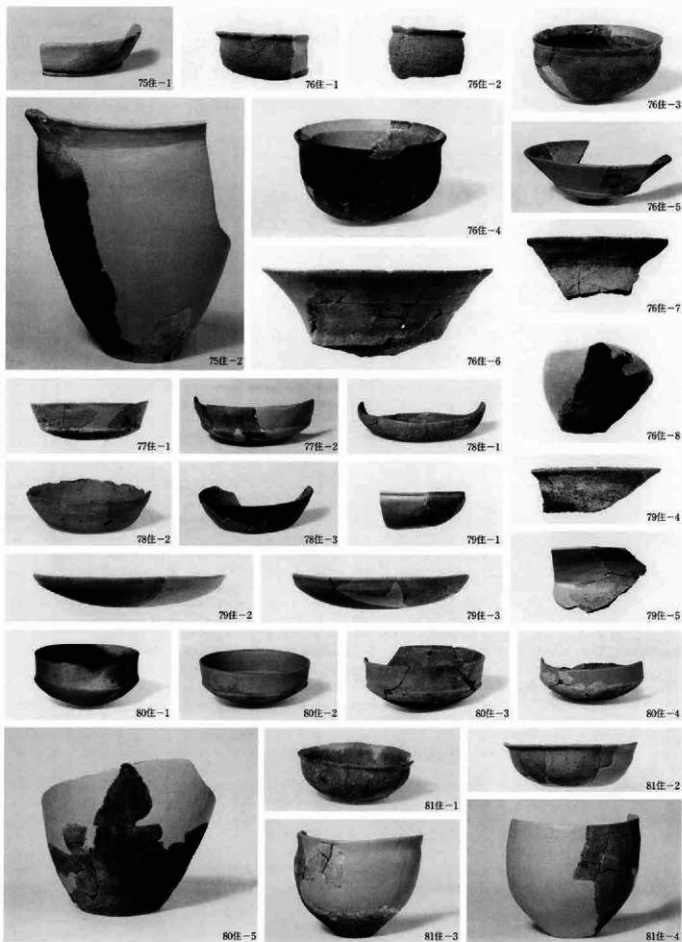
57住-12

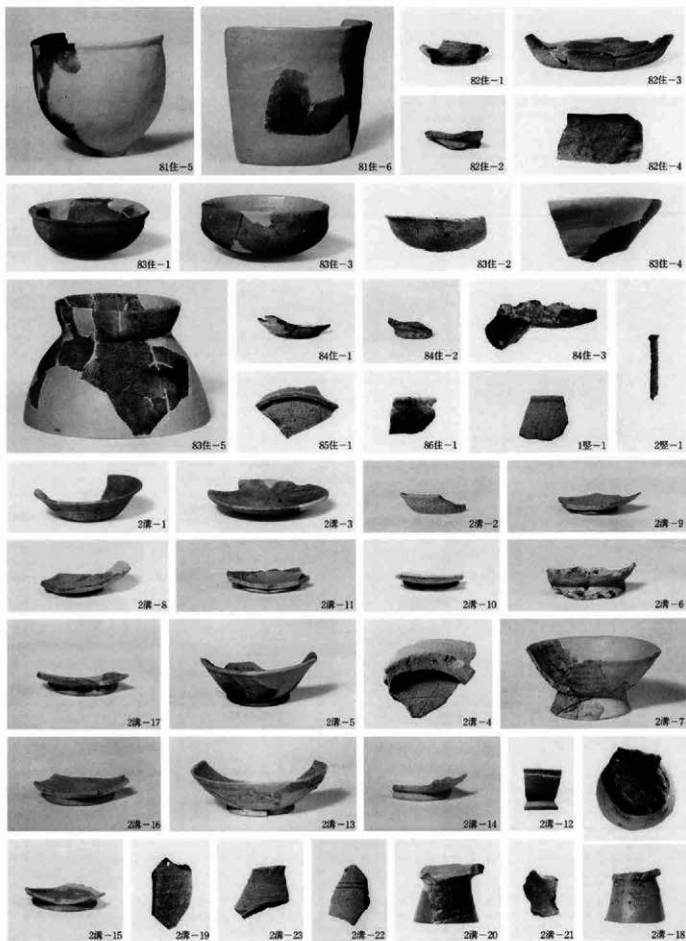




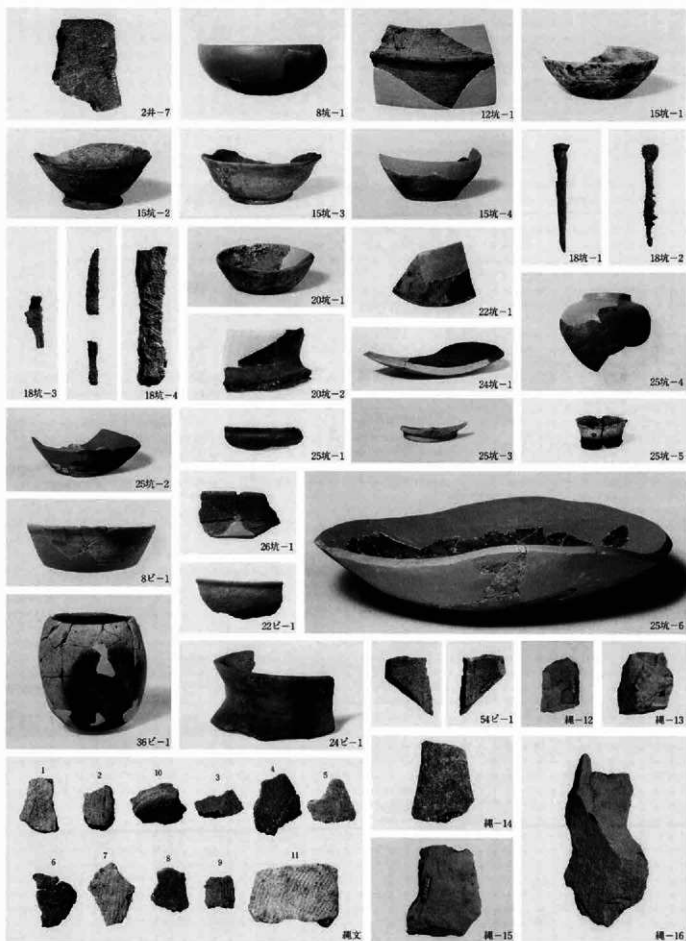


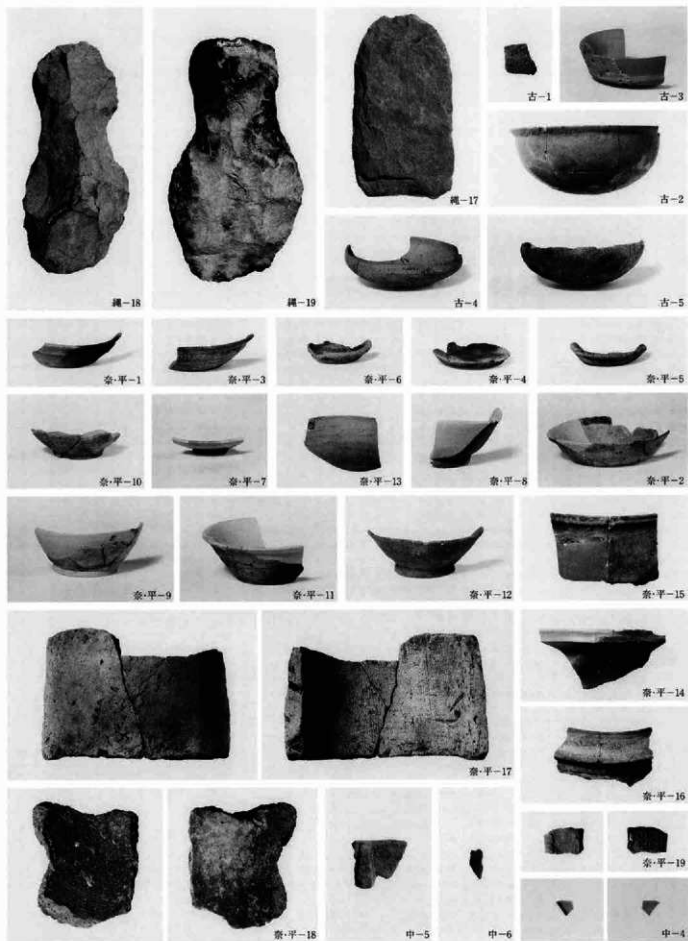














(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告第320集

稲荷塚道東遺跡

前橋警察署新築工事に伴う発掘調査報告書

平成15年(2003年)8月21日 印刷

平成15年(2003年)8月31日 発行

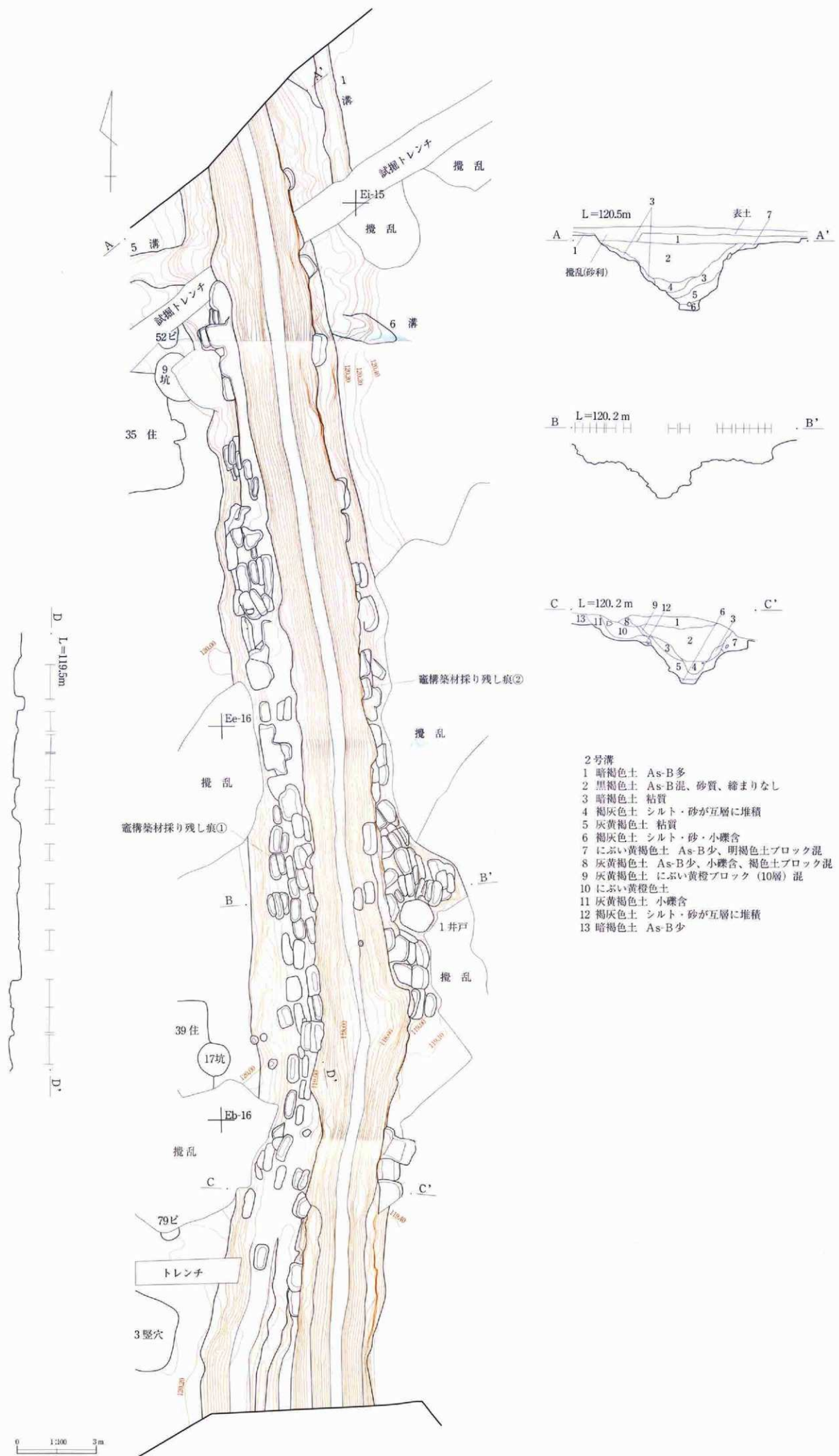
編集／(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8535 群馬県北橋村大字下箱田784番地の2

電話0279-52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmibun.org/>

印刷／上武印刷株式会社



付図1 2号溝・竈構築材採掘痕群

p
o
n
m
l
k
j
i
h
g
f
e
d
c
b
a X=4,200
t
s
r
q
p
o
n
m
l
k
j



F

E

D

C

B

A

4 3 2 1 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 20

Y=-70,900

Y=-70,800

1 1 : 200 10m

付図2 稻荷塚道東遺跡全体図

